

片頭痛を含む頭痛の診断・予後および治療介入に関する 多施設共同前向きレジストレーション研究

講師（学内）・石井亮太郎からのメッセージ

頭痛に悩まされない社会を作ります。



キーワード

頭痛、片頭痛、群発頭痛、緊張型頭痛、ステイグマ、患者負担、創薬、認知行動療法、デバイス治療、アプリ開発、AI、バイオマーカー

研究内容

世界疾患負担(Global Burden of Disease: GBD)推計では片頭痛は全ての疾患のなかで2位である。しかし、日本では医療者においてすら認識は広まっておらず、医療の根幹である研究・臨床・教育3つのいずれにおいても十分な活動がなされていない。本邦での頭痛の有病率は約40%（片頭痛：8.4%）と高いものの、適切な治療を受けているのはそのうちの10%未満と報告されている。若い働ける世代が会社を休む病気であることから、各企業および国家としての損失も非常に大きいことが分かっている。

片頭痛は遺伝要因・環境要因によって発作性の疼痛を繰り返す疾患であり、その誘因には睡眠・食事・ストレス・光・音・天気・食事など多くの要因が関連していることがわかっている。頭痛の改善には上記いずれもターゲットとなりうるため、薬剤・デバイス・予防療法・環境調整（家具/照明/めがね/アプリetc）などの開発には大きなアンメットニーズが存在する。

これまで我々は、国際頭痛分類（頭痛の診断基準：ICHD）の改定を提言するなど積極的な活動を行ってきたが、2022年以降、外来頭痛患者を対象にレジストリーを立ち上げ情報収集を開始した。

今後の展望

現在行っているレジストレーションをもとに研究を継続するとともに、各治療ターゲットへの探索的研究も並行しておこなっていく。諸外国に比べて大きく後れを取っている頭痛診療の均てん化と研究・治療法の開発を進めていきます。

References

- (1) Ryotaro Ishii et al. Chronic versus episodic migraine: The 15-day threshold does not adequately reflect substantial differences in disability across the full spectrum of headache frequency. *Headache*. 2021;61(7):992-1003. doi: 10.1111/head.14154.
- (2) Ryotaro Ishii et al. Mild traumatic brain injury affects the features of migraine. *J Headache Pain*. 2021 Jul 22;22(1):80. doi: 10.1186/s10194-021-01291-x.
- (3) Ryotaro Ishii et al. Effect of Migraine on Pregnancy Planning: Insights from the American Registry for Migraine Research. *Mayo Clin Proc*. 2020 Oct;95(10):2079-2089. doi: 10.1016/j.mayocp.2020.06.053.
- (4) Ryotaro Ishii. Should chronic migraine be defined by eight or more headache days per month? *Headache*. 2021 Jul;61(7):983-984. doi: 10.1111/head.14170.